本紙の七月附錄

本社は既に六月の附錄を讀者に配布したり來る七月の初旬に第四回として發行する附錄は

渡邊文三郎氏の富士

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價は左の如し

時事新報定價

一號　貳錢五厘○一箇月　前金五拾錢○三箇月　前金壹圓四拾五錢○六箇月　前金貳圓八拾五錢○一箇年　前金五圓六拾錢○月曜日休刊（此他大祭祝日年始年末等一切休刊セズ）

●前金　一旦受取りたる前金は凡て通貨を以て返戻する事なく新聞紙代の前金は新聞紙を以て又廣告料の前金は廣告を以て勘定する事を御承知被下度候

時事新報遞送料

一　日本國內並に朝鮮國京城、仁川、釜山、元山津　一箇月　金拾三錢

二　南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を經て郵送する歐洲各國　一箇月　金六拾錢

三　北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸嶋　一箇月　金三拾錢

四　香港を經て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸嶋、濠洲　一箇月　金六拾五錢

五　露領浦鹽斯德、清國諸港　一箇月　金三拾五錢

時事新報廣告料（前金）

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

●廣告料●定●價　時事新報の廣告料は都て定價の通り申受くる筈なれども取次人の內には往々定價以下にて引受くる者ある由今後斯る事實を發見する時は直ちに其取次人に對し本社廣告の取次を謝絕する事もあるべき筈に付豫め廣告依頼者諸君に公告す

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものあり是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を掲ぐるみと寡からず稱り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんみとを請ふ

時事新報社に遞したる投書の原稿は凡て寄稿者に返戻せず又本社に保存せず

時事新報

韓廷の策略に誤らるゝことゝ勿れ

朝鮮政府は過般來深く內地騷亂の模樣を秘して人に知らしめざるみとを勉る其一方に於ては頻りに官軍の勝利を吹聽して賊徒の逃るゝに足らざるを說き既に數日前には京城駐在の各國公使に向て官軍は東學黨と大戰して其巨魁を斬り騷亂全く鎭定したりとの趣を通知したりと云へ然るに我輩の觀察を以てすれば是れ迄正しく彼の政府が故さらに無事平穩を裝ふて以て日本兵の入來を防よく謝絕せんとするの策略にして容易に信を置く可らざるものなりと判斷せざるを得ず抑も東學黨は烏合の群にして到底よく大事を成遂げ得る者に非ずとて一概に之を輕蔑する者あれども兎に角に其目的とする所は專橫なる地方官を殺戮して平素の鬱憤を晴さんとするに在るみとなれば兼て酷吏の虐政に苦しめられて不平に堪へざる農民輩は到る處に之を歡迎して勢力日に增進の樣子なれば內實は決して侮る可らざるものあり而して東徒鎭定の爲めに派遣せらるゝ官軍の事情如何と云へに其兵卒は國庫の空しきが爲に給料さへ不渡りにして殆んど生活に差支へる程の仕儀なれば政府に對して多少の恐みそれ愚に浴する者とては一人もなく身命を拋て國家の爲めに盡すなどの談は夢にも思はざる所にして偶ま賊徒征伐の命を受けたるを幸に人民の私財を掠奪して自から利せんみとを謀るのみ甚だしきは利を見て賊軍に投ずる者さへ多しと云ふ事態斯の如くなれば今日朝鮮政府の自力を以て一二箇月間に國亂を鎭定するが如きは到底望む可らざる所にして彼の巨魁伏誅の報告も都て信を置くに足らず斯る淺墓なる計略を以て諸外國人を瞞着して我日本兵の撤回を懇請するみとあるも誰れか之に應ずる者あらんや彼の國の內亂は之を喩へば骨にからみたる慢性病の如し假令ひ實際に一時の輕快を告ずるも再發計る可らず苟も再發の患なきを證するまでは居留人民の看護たる我兵隊は決して其地を去る可らざるなり或は獨立國の版圖に軍隊を駐在せしむるは國際法に照して如何あらんなど疑を抱く者もあらんかなれども朝鮮政府は其國內の騷亂に對して自から自身を保護するさへ困難なる弱政府たるみとを天下に表白したるものなれば日本國人は止むを得ず自力を以て自から衛るの急に迫られたる者なり況や又我出兵の權理は明治十五年濟物浦に於て取結びたる日韓條約の許す所にして爭ふ可らざるに於てをや旁々以て此度び仁川に向て派出したる我國の軍隊は假令ひ如何なる邊より何樣の故障を申入るゝとも當分の間は斷じて撤回するが如きみとある可らず此事に就ては當局者も必ず同樣の意見ならんなれども念の爲め我輩は愛に一言を記して讀者と共に之を記憶に存する者なり

雜報

○金融の大勢

三井、第百十九、第一等屈指の銀行は何れも兩三日前に於て金利の引上を發表したり其他の諸銀行も此際勢ひ步合引締の必要に迫らるゝべし然るに目下の事情のみを睹め近眼に之を視察すれば今俄に金利引上の必要あるべしとも思はれず素より銀行の手許に遊金としてあるにわらざれども亦借手の非常に增加したるにもわらず前週の兌換劣通報を見るに流通高の上には實に二百萬圓の減少ありて發行高にも亦八十萬圓を減ず當月末は諸銀行の決算時にして其用意も必要なれども公債利子の償還あるみとなれば不充分ながらも相償ふを待べし目先き金融市場は尙ほ穩なりと云ふて可なり

然れども若し強く金融のみとに注意するものは今後の大勢次第に繁忙の傾向あるを認めざるものなく先を見越せば繁忙と云ふよりも寧ろ逼迫の掛念さへなきにわらず年の後半期に金融の忙はしき事は今更云ふを要せざれども會社熱の流行は豫想よりも高くして此一事殊に衆心すべき所とす今既設及び新設諸會社の資本が何程の金高に達するやを見るに詳細の計算もなけれども概數は實に三●億圓の巨額に達せり中二億圓は已に拂込を了ったれども一億圓丈けは尙ほ未拂込に屬す之を一時に拂込む譯にはわらざれども本年中には其大部分を納金するの必要あるべし已に今日に於ても府下に多少の小金を有するものは一株に五圓なり十圓なりの拂込通知を受け居らざるものなし夫等の人々は其通知に遇ふて夫れ〳〵準備あるや否や其だ覺束なき所にして融通の附かざる分は從來所有の株を賣て之れに當つるか或は拂込に先だち他に讓り渡さんとするもの中々に多きが如し昨今株式市場に目立たる大賣物の顯れずして崩れ立ちたるも右の事情に迫られたる爲めにはわらざるか已に今日にして斯くの如し今後新設會社等の拂込一時に輩みたるときに於ては如何に狼狽するみとならん尙ほ夫れのみならず會社新設の金ては引續き益す多きを加ふるもの〻如し

殊更らに新設會社の種類等は事げざれども昨今各地より會社設立の請願書が其筋に達するみと日々の平均十五六通の多きに上りて尙ほ引きも切らずと云ふ事實を聞かば如何に企業熱の沸騰し居るやを想像するに難からざるべし鐵道のみにても隔日に一通の請願はありと云ふ目下鐵道會議にて審議し居るものにても已に九線路の審査を了りて尙ほ三十件許はありと聞く是等が愈よ其起業に着手せんとせば其資金は如何にして調達せんとするか資本悉く固定に變ずべきにわらずして夫れ〳〵流用も利くみとなれども限りあるの通貨を以て限りなきの需用に應ずるみと出來得べきにわらずして資金不足の聲は遠からず大ひに起るべく其場合には逼迫は借貸き勢恐慌を引起して先年の慘況を再びするみとなしとせず銀行家の警戒も實に故なきにわらず斯る折柄朝鮮事變の持上りたるは幾分か金利引上を刺衝したるなるべし目下の處にては之れが爲めに要する通貨は僅少のものにして未だ金融を動かすに足らざれども若しも不幸にして平和を破るみともわらんには人心の恐慌、金融に大影響を及ぼすみとなしとせず尤も前例に照らして戰爭後には金融の緩慢に流るゝ事實はあり殊に朝鮮の如きは外國と云へば外國なれども日本紙幣の流通する所にして其一事は內亂と異ならず出したる通貨は必ず復歸すべくして平定の後は國內に通貨を增加し却て緩慢を見るみともわらん此事件は今後の成行に依て金融に變體を與ふるみとなしとせざれども何分にも今日の處にては事件其物の見越さへ附かざれば銀行も亦多く氣に構へざる如くなれども會社熱の金融に及ぼす影響に至ては勢ひ避くべからざる所にして外國貿易の趨勢等をも之に附け加へて前途を推測するときは本年の金融は大ひに戒心を要するみとなるべし各銀行が此際金利を引上げたるは多く先きを見越してのみと雖分か警戒的に爲したるものなりと云ふ

○家屋稅徵收に關する疑問

府下にては今尙本年度前半期分地方稅（家屋割）の徵收中なるが納期中即ち明月一日より五月三十一日まで但し本年に限り延期のため六月三十日までの間に家屋の賣買ありたるものは通例舊所有者（即ち賣主）より前半期分の全額を徵收するも若し遲滯して納めざるときは新所有者（即ち買主）より國稅を徵收し居るより每度ながら雙方の間に疑問起り區役所に向て彼此苦情を唱ふるもか〻る場則なりと云はるれば夫まで なれば徵收上の手都合を謀るため或る場合には賣主に對して一時に納期中の分を徵收し同じ納期中の賣主と買主との間に於ては其れ丈け各區役所の困却の餘り日本橋を差出したるに納期中の新所有者より徵收して徵收し居る由なれども出すが如きは其だみの日を限りとしたる事とせば多分穩利雙方の苦情を免かるべしと云ふ

○水道用鐵管

道改良事務所に於て前號の紙上に記載したるよりて鐵管の直徑よりて各自其趣を異なるものを落札したるは噸の價格とを能くするみと能はざるなり就ては兩三日中に修正委員に付したる又此修正案に對して報じ午後一時再の意見を提出し結約中に此條項を掲

明治十七年京城の亂

清兵漫りに我兵を王宮に圍む